

さくら組だより 1月

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
新しい年が明け、さくら組で過ごすのも残すところあと3カ月となりました。
身体も心も少しずつ大きくなっていく子どもたちの姿を、1日1日大切に見守っていきたく
と思います。

今月の目標

- ・身の回りのことを自分から進んで行き、冬の生活の仕方を身につける
- ・お正月遊びや伝承遊びに触れ、友だちと遊ぶ楽しさを味わう



子どもたちの様子

ドキドキの発表会

ひとりひとりができることを頑張りました。

動きやセリフを忘れてしまっても、同じチームの子が教えてくれたり、周りを見て思い出したり、みんなが一丸となって劇を成功させることができました。恥ずかしくて劇に参加することが難しかった子も、歌うことは大好き。ピアノの音が聞こえないくらい大きな声で歌っていました。合奏は、音を出さない「うん」のところで合わせる練習をたくさんしました。当日はみんな堂々としていて感動しました。



実験遊び 洗濯のりと塩でスーパーボールを作ったり、色々なものを水に入れて、浮くもの、沈むものを予想したり、ちょっとした実験を取り入れました。

スーパーボール作りでは、のりと色水（塩水）をコップに入れて、混ぜるとドロツとした塊が出てきて、驚きながらも楽しそうでした。

これからも色々な変化を感じ「どうして？」をたくさん感じられる活動を取り入れていきたいと思っています。



～子どものやる気を育てるために～

年度当初は泣いてばかりだった小さな子どもたちも、幼児さんとしてとてもたくましく成長しました。できることが増え、自分でやりたい！と意欲的な面がたくさん見られます。しかし思いがあっても環境が整っていないとやる気も失せてしまいます。特に着替えはみんな一斉に行うため、自分ひとりだけ時間がかかると「先生やって！」となりがちです。

本来はできるのに、成長の芽をつぶしてしまうのはもったいないです。子どもの身体に合わせた着脱のしやすいものを用意したり、調理活動のエプロンは紐の長さを調節して縫うなど、ちょっとしたことで子どもは自分一人でできた満足感と、自分でやってみようという意欲が生まれます。お忙しいと思いますが、進級に向けて成功体験を増やし、自信に満ち溢れたひばり組になれるようご協力をお願いします。